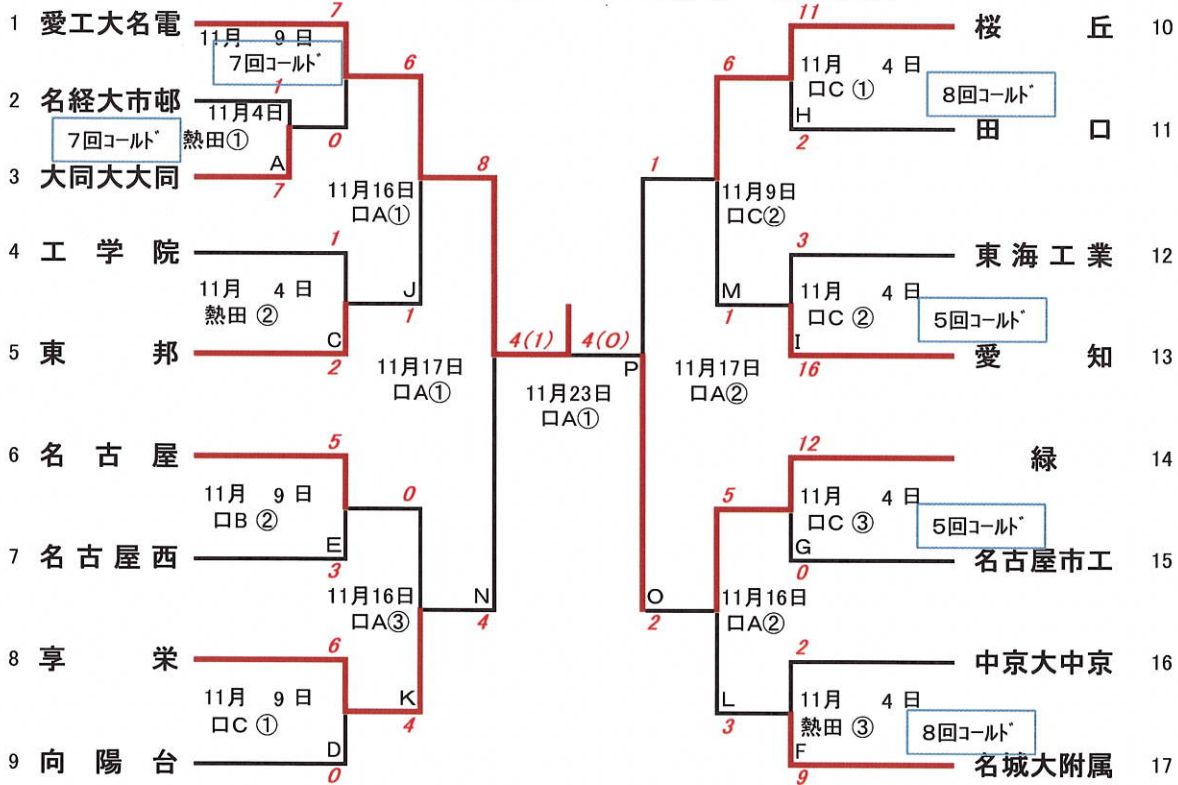


令和元年度 愛知県高等学校 愛知県大会 軟式野球競技

1. 主催 愛知県高等学校体育連盟
2. 期日 令和元年 11月4日(日), 9日(土), 16日(土), 17日(日), 23日(土)
3. 会場 愛知県口論義運動公園野球場 日進市北新町西口論義323-8 TEL(0561)73-8959
11/4BC 11/9BC 11/16A 11/17AC 11/23A
熱田愛知時計120スタジアム 名古屋市熱田区旗屋1-10-45 TEL(052)681-5204
(熱田神宮公園管理事務所)
4. 競技役員 青木 健、尾俣 治義、佐藤 修司、川口 昌裕、松山 直樹、市川 徹、長谷川 寿樹、菱田 佳紀、
白井 拓、村上 淳、谷出 基貴、陸地野 由晃、成田 良樹、中村 健太郎、松原 和将
5. 審判員 愛知県軟式野球連盟審判員
6. 補助員 享栄高校生、大同大同高校生
7. 組合せ

優勝 愛知工業大学名電高校
準優勝 名古屋市立緑高校



1日三試合の場合
第一試合 9:45
第二試合 12:15
第三試合 14:15

1日二試合の場合
第一試合 10:00
第二試合 12:30

□ : 口論義運動公園野球場
熱田 : 熱田愛知時計120スタジアム

8. 競技場の注意

- a. 参加チームは、試合の1時間半前には到着し、30分前、または、前試合の5回終了後にメンバー交換をする。また試合は試合予定時刻より30分までは繰り上がる可能性があるが、状況に応じて30分以上早く繰り上げることもある。
 - b. ベンチは組合せの上段を一塁側とする。
 - c. 5回以後10点差、7回以後7点差でコールド・ゲームとする。
ただし、試合時間が1時間50分を超過した場合、次のイニングに入らず、そのイニングで試合終了とする。
 - d. 試合は9イニングとし、延長は行わない。
 - e. 同点の場合はタイブレークを適用する。タイブレークとは、無死1・2塁より開始し、先頭打者は9回終了時の打順を引き継ぐ。1塁走者は先頭打者の前の者、2塁走者は1塁走者の前の者とする。
タイブレークを開始する各イニングの前に、審判委員と両チームは各塁上の走者に誤りがないか十分に確認する。守備側の選手交代及びポジションの変更、攻撃側の代打及び代走は認められる。
 - f. ノックは7分以内とし、省略する場合もある。特に1日に同会場で三試合行う場合には省略する。
またノック補助員は3名までとし、必ずヘルメットを着用すること。
 - g. ベンチ人員は、部長、監督、選手20名、記録員1名とする。
 - h. 試合球は健康M号ボールを使用し、各チーム2個ずつ持ち寄りとする。
 - i. バッター及びネクストバッター、ランナーコーチ、捕手は、必ずヘルメットを着用すること。
 - j. 背番号は、登録通り正しく着用すること。
 - k.グラウンドの整備は両チームが協力して行うが、平成28年度に定めた規定に従うこと。
 - l. ファウルボールの処理は平成28年度に定めた規定に従うこと。
 - m. 公認野球規則または運営者の定めるところによる。
 - n. 危険防止のため、アクセサリ類は身につけないこと。
 - o. 試合後タクシーを呼ぶ場合は、必ず管理棟玄関及びロビーにて待機すること。
 - p. 雨天時連絡 青木 健(大同)090-3552-1740(午前6:30~7:00)
- その他 各自のゴミやチームのゴミ等は、自動販売機用のゴミ箱に捨てないで必ず持ち帰ること。
グラウンド内はもちろん、周辺をきちんと片付け、各自のゴミでなくても拾って持ち帰ること。
顧問は部員が会場を出るまで責任を持って引率し、忘れ物やゴミなどが無いことを確認してから会場を後にすること。
言動に注意し、高校生らしいあり方に努めること。